

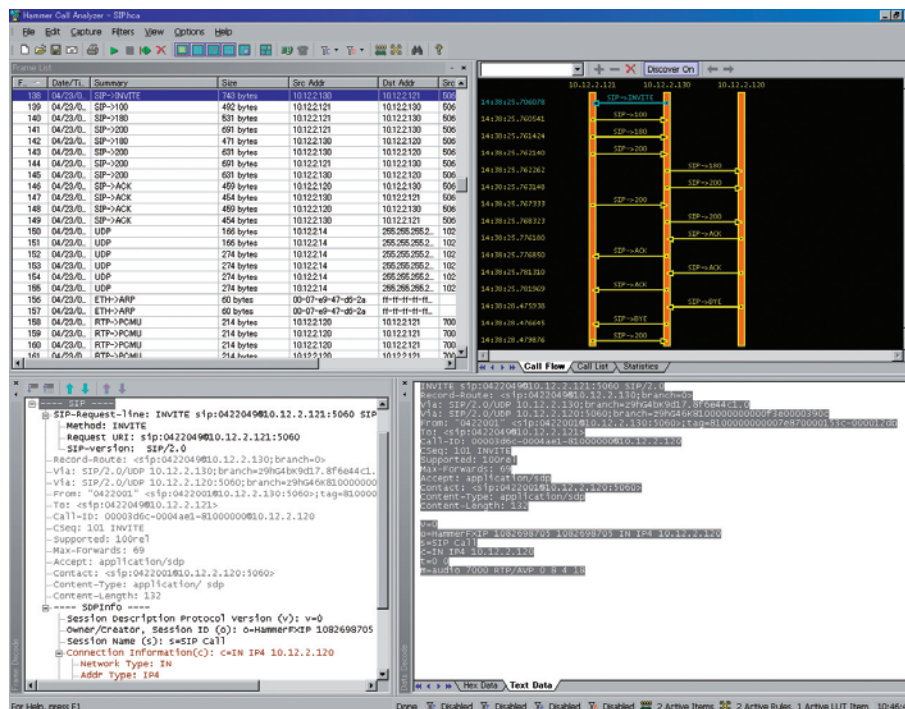
VoIPプロトコルのプロが認めた分析力、
抜群のコストパフォーマンス。

Hammer CA™ コールアナライザ

VoIPシグナリングの問題を解決するためには、大量のパケットの中から少数の致命的なパケットを発見をする必要があります。従来の一般的なアナライザでは、膨大なログファイル内のタイムスタンプやパケットダンプから問題を特定する作業に、非常に時間を要しました。アナライザの意義は、パケットのデコードよりも、膨大なパケットの中から問題を探し出すための機能にあります。Hammer CA™ コールアナライザ (VoIPプロトコルアナライザ) は、VoIPのシグナリングプロトコルの問題解決用ツールとして設計されており、VoIPプロトコルのデバッグプロセスや、シグナリング問題の解決時間が、劇的に短縮されます。

特徴

- 膨大なキャプチャデータから、呼単位で瞬時に解析可能
エラーメッセージのダブルクリックのみで原因メッセージの特定が可能
- リアルタイムでの表示、解析機能
キャプチャ実行中、リアルタイムにコールフロー、ディスプレイフィルタ設定、詳細解析などが可能
- 複数インターフェースからの同時キャプチャ可能
複数のドメインにわたるパケットを同時キャプチャ可能
- TDMインタフェースのサポート (専用機モデル)
TDMからIP、またはその逆のメッセージ変換時のトラブルを解析
- SIP-T、IPv6、RTP、RFC2833 (DTMF) に対応
- RTCPをベースとした遅延測定
- 高性能なプロトコルレベルフィルタリング
電話番号、メッセージ種別、コールIDなどでフィルタリング可能
- 13種類の様々なファイル形式に対応したインポート、エクスポート
- 強力な音声品質測定機能
RTPパケットの音声再生、R値 (JJ201.01をサポート)、MOS換算値、ジッタ、ロス情報などを表示可能
- Hammer CA™ コールアナライザ 実行画面



The screenshot displays the Hammer CA™ Call Analyzer interface. The top window shows a table of captured packets with columns for Date/Time, Summary, Size, Src Addr, and Dest Addr. Below this, a 'Call Flow' diagram visualizes the sequence of SIP messages between two endpoints. A detailed view of a SIP message is shown in the bottom window, including fields like Method (INVITE), Request-URI, SIP-version, Record-Route, Via, From, To, Call-ID, CSeq, Supported, Accept, Contact, and Content-type. The interface also includes a menu bar, toolbar, and status bar.



Hammer CA™ コールアナライザ システム構成

● サポートプラットフォーム

- ◎ 汎用PCモデル (IPプロトコル専用)
 - ・ OS : Windows2000 SP3、WindowsXP SP1
 - ・ CPU : Pentium 4 1.6GHz以上
 - ・ メモリ : 512MB RAM 以上
 - ・ HDD : 1GB以上の空き容量
 - ・ LANインタフェース

◎ 専用機モデル (IPとTDMプロトコル対応)

- ・ 専用ポータブルシャーシ
- ・ 専用NIC、TDMインタフェースカード

● サポートプロトコル

◎ TDM

- ・ ISDN (Q.921, Q.931)
- ・ SS7 (ISUP, MTP2)

◎ VoIP

- ・ H.323 (H.225, H.245)
- ・ SIP
- ・ SIP-T
- ・ MGCP
- ・ Megaco (H.248)
- ・ RTP、RTCP
- ・ RFC 2833 (DTMF)

● 直感的で使いやすいユーザインタフェース

- ◎ 呼の動作をグラフィカルに表示
- ◎ 呼ベースの表示でタイムスタンプ、パケットダンプの羅列から解放
- ◎ マルチステージコール表示
- ◎ コールリスト
- ◎ パケットをキャプチャしながら、様々な解析をリアルタイムに実施可能

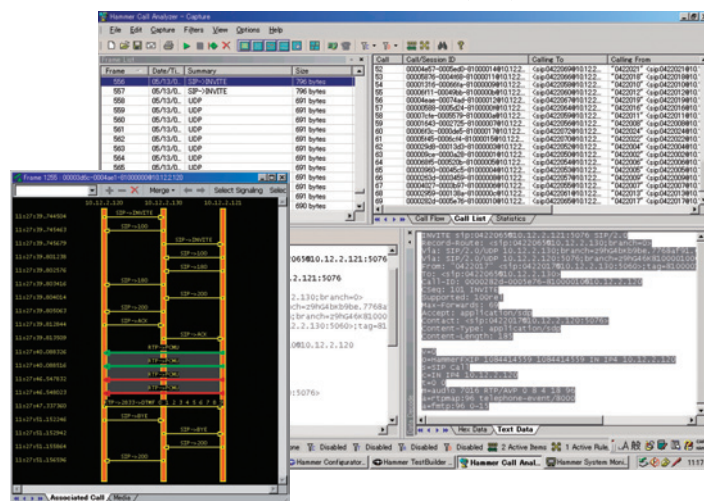
● キャプチャ、フィルタリング機能

- ◎ トリガ以前のデータも保持 (プレトリガ)
- ◎ トリガを契機に外部にE-mail送信も可能
- ◎ IPv6アドレスによるフィルタリング、トリガも可能

● 強力な音声品質測定機能

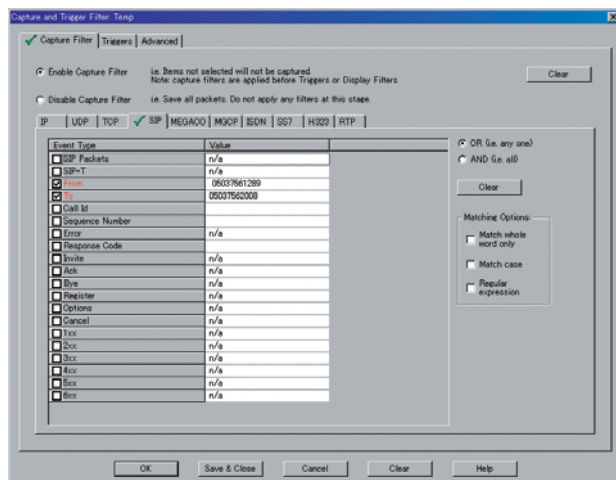
- ◎ R値、MOS換算値などの音声品質指標を表示
- ◎ JJ201.01 (総務省のR値) のサポート
- ◎ RTCPをベースとした遅延測定が可能
- ◎ 音声の波形表示及び再生機能
- ◎ G.711、G.723.1 及び G.729A/B (G.723.1/G.729はオプション) コーデックをサポート
- ◎ ジッタをヒストグラムで表示
- ◎ Jitter Bufferエミュレーションにより、異なるバッファ長による品質への影響をエミュレーション可能

● コールリストおよびコールフロー例 (SIP)

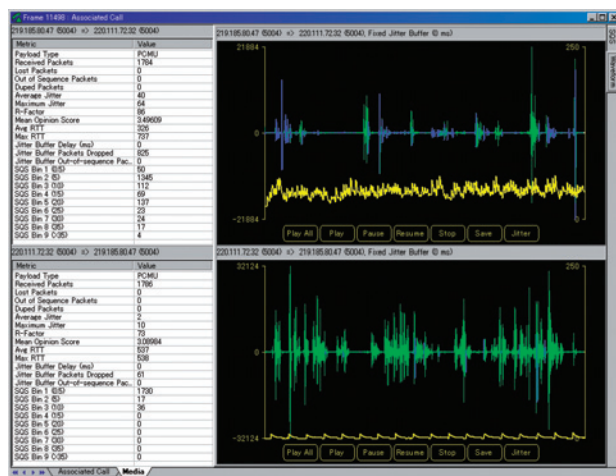


キャプチャされた信号に含まれるコール/セッションIDを検出してコールリストの一覧を表示します。またコールIDに対応するコールフローを表示することができます。これらの機能はキャプチャ実行中にはリアルタイムに動作します。

● フィルタリング条件設定画面



● 音声品質解析画面



■ 記載の内容および仕様は予告なしに変更されることがあります。

■ 販売代理店



エンピレックス株式会社
コミュニケーション・プロダクツ・グループ

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-11 フジワラビルディング 7F
Tel: 03-5457-2342 Fax: 03-5457-0541
E-mail: Hammerjapan@empirix.com URL: www.empirix.co.jp

※ 記載されている社名・製品名は各社の商標または商品登録です。
© 2008 Empirix. All rights reserved.